

第20回 恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会

環境整備・PTA・コミスク部会

日時：令和7年12月3日(水) 午後7時から

場所：上矢作コミュニティセンター 講堂

1. あいさつ

2. 協議

課題No.15「学校運営協議会の組織運営に関すること」について

3. 報告事項

- (1) PTAの組織化に向けた状況
- (2) スクールバス等に関する状況
- (3) 学校部活動の状況
- (4) 校舎の増改築の状況

4. 連絡事項など

恵那南中学校 「学校運営協議会」 について

【はじめに】

- ・第 15 回 環境整備・PTA・コミスク部会（R6.10.31）で、別紙資料 1 のとおり協議を行い、学校（事務局）側で提案し部会で協議するとしています。（下段☆印）
- ・また、学校運営の基礎となる教育目標(案)は、準備委員会「総務部会」で、次のとおり決まりました。

教育目標(案) 「世界の人と未来を語り合う生徒」

恵那南中学校では、互いに他を尊重し、共に学び、生活する中で、未来に生きるたくましい子供を育てます。

- ・何でも語り合える仲間作りを大切にします
- ・仲間や先生など多くの人と関わる中で、興味・関心を育み、得意なことを伸ばします
- ・地域を学び、地域の未来を考えます
- ・表現する力、発信する力を養います

これらをふまえ、次のとおり取りまとめましたので提案します。

＜基本的な活動の考え方＞

- ・学校運営の基本方針や学校の課題に対して、広く保護者や地域住民の方々が当事者として関わることで、地域とともにある学校づくりに取り組みます。

＜委員の構成＞

委員は、5つの地域をつなぐ役割が必要と考え、また、会議の構成人数が過大としない人数としました。

地域学校協働活動推進員 (各地域 1 人)	5 人	地域住民を代表する方として、従来より地域と小中学校との連携・協働を行っている
市の振興事務所長 (各地域 1 人)	5 人	関係行政機関の職員を代表する方として、各地域を把握している
恵那南中学校 PTA 会長	1 人	保護者を代表する方
恵那南中学校長	1 人	学校を代表する方

合計 12 人

＜活動組織（部会）の考え方＞

- ・地域と関わる活動内容に直結するような組織（部会）は、はじめから決めつけませんとします。
- ・開校後に、学校と地域が望ましいと考える活動により、必要とされるものを作り上げていくとします。

学校運営協議会

地域住民や保護者等の意見を、学校運営に反映させるための協議や基本方針の承認を行う、学校運営の強化を図るための仕組みです。

- 「地域とともにある学校」を目指します
- 活動の内容 … 学校経営構想、学校の教育目標、めざす学校像等に基づき、地域とともにある学校としての活動を推進します
- 委員の構成 … 地域自治区の代表、地域活動団体等の方、PTA 会長、地域学校協働活動の推進員、振興事務所長、学校長 等で構成
⇒ 具体的には地域の実情に沿って活動する人材となります
⇒ （恵那市教育委員会が委員を委嘱します）

これらのことから…

学校の経営構想や教育目標などが立案されることによって、
学校運営協議会の仕組みが成り立ってきます

これら教育内容については、
学校（事務局）側で調整する流れで進めている
…準備委員会「総務部会」の課題項目

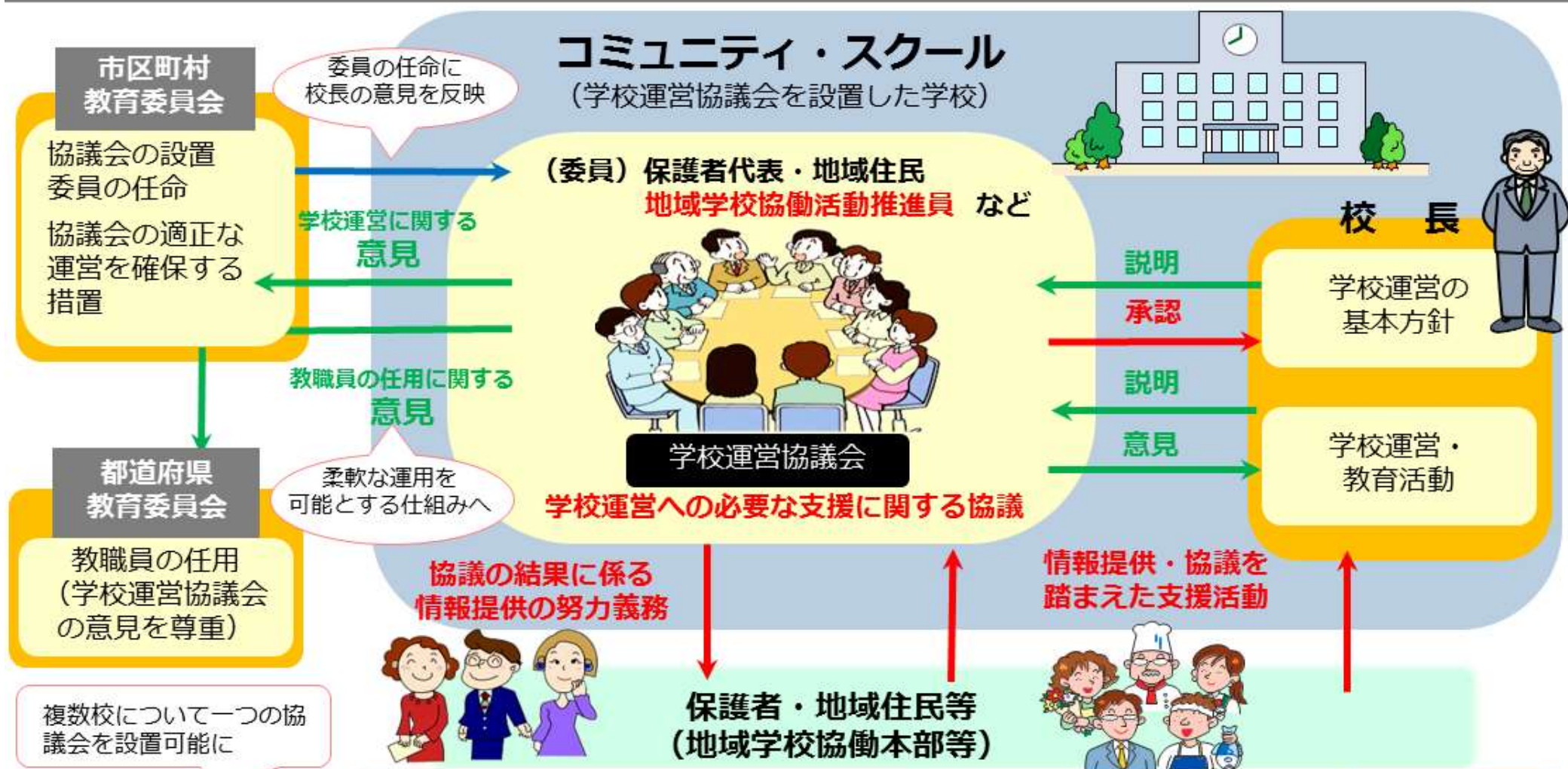
<恵那南中学校では・・・>

活動の内容：学校経営構想など今後立案されてくる内容に沿って決まってくる
委員の構成：5つの地域からの代表者や振興事務所とのつながりが必要となる



まずは学校(事務局)側で、
• どのような活動をどんな組織で行うか提案してもらう
• その提案をもとに部会で判断していく、という進め方

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の仕組み



<学校運営協議会の主な役割>

地教行法第四十七条の五

教育委員会が、学校や地域の実情に応じて学校運営協議会を設置

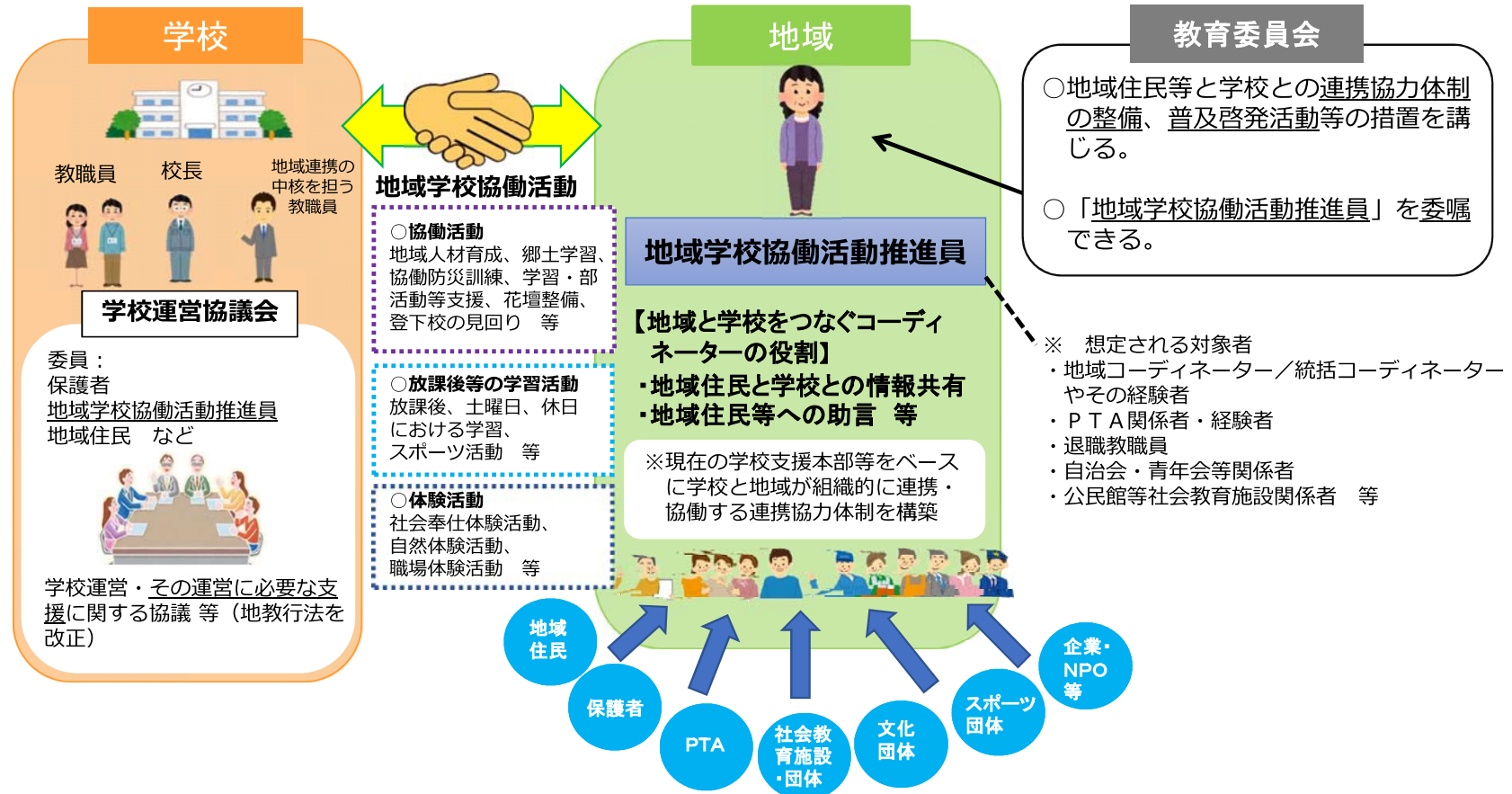
- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること
- 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べるができること
- 教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べることができること

地域と学校の協働体制の構築に向けた法改正について

改正の概要(平成29年3月改正、同年4月施行)

平成27年12月の中教審答申(地域と学校の連携・協働)を受け、地方教育行政の組織及び運営に関する法律を改正し、各教育委員会に、保護者や地域住民が学校運営に参画する仕組みである学校運営協議会の設置を努力義務化。また、地域と学校が連携・協働し、幅広い地域住民や保護者等の参画により地域全体で子供たちの成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」を全国的に推進するため、社会教育法を改正し、同活動に関する連携協力体制の整備や「地域学校協働活動推進員」に関する規定を整備。これらにより、幅広い地域住民等の参画を得て、社会総掛かりでの教育を実現し、地域を活性化。

<地域と学校の協働体制のイメージ>



報告事項

(1) PTA の組織化に向けた状況

- ・ 12 月末 現在の中学校ごとに、令和 8 年度 P T A 本部役員候補者を選出
- ・ 1 月 P T A 本部役員候補者の顔合わせ、「会長」「副会長」等候補者を決定
- ・ 2 月 学校説明会で P T A 本部役員候補者を発表
- ・ 4 月 保護者会で恵那南中学校 P T A 設置を提案し、本部役員を決定

(2) スクールバス等に関する状況

①スクールバス

- ・ 11 月上 昨年度実施した乗車バス停アンケート結果を基に、生徒が乗車するバス停を、保護者あてに郵送による手紙でお知らせしました。
- ・ 12 月末 スクールバスの時刻表を決定し、市ウェブサイトでの公表と、保護者には「すぐーる」でお知らせします。
- ・ 2 月 スクールバスに実際に乗車してもらう乗車体験を実施します。

②自転車通学

- ・ 山岡地区在住で、スクールバス通学ではない生徒が対象となります。
- ・ 希望される場合は申請書の提出が必要となります。

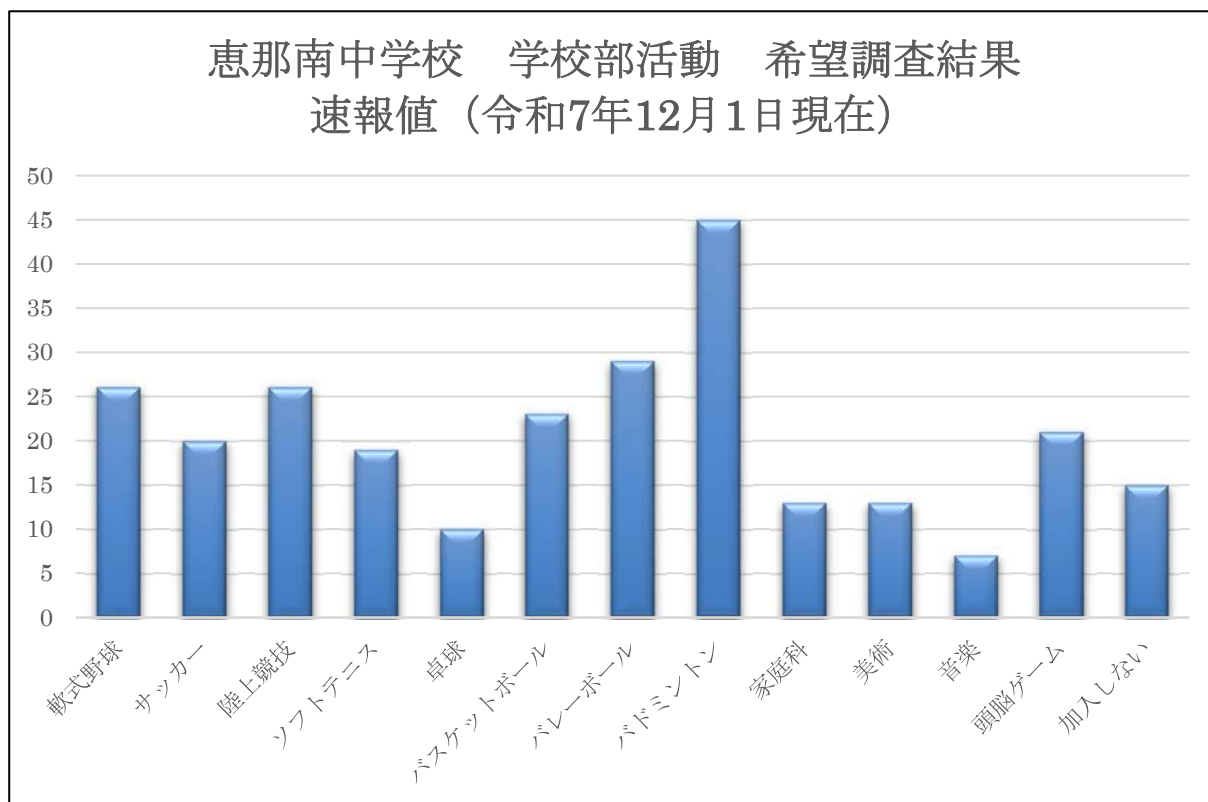
自転車通学のルールは以下のとおり

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 自転車保険へ加入します・ 交通法規を遵守し、交通安全を心がけます・ ヘルメットを着用します・ 二人乗りなど危険な乗り方はしません・ 指定の位置に駐輪します・ 決められた場所では自転車をひいて歩きます |
|--|

(3) 学校部活動の状況

- ・ 11 月 部活動を選択するための情報として、小学 6 年・中学 1 年・中学 2 年に、令和 8 年度の部員数を予測するため希望調査を行いました。
- ・ 12 月 希望調査の結果を児童生徒および保護者にフィードバックします。
- ・ 4 月 開校後、自分に合っているか実際に学校部活動に体験入部します。
- ・ 5 月 選択する部活動を保護者とともに決定し、入部します。

希望調査の結果（速報値）



（４）校舎の増改築の状況

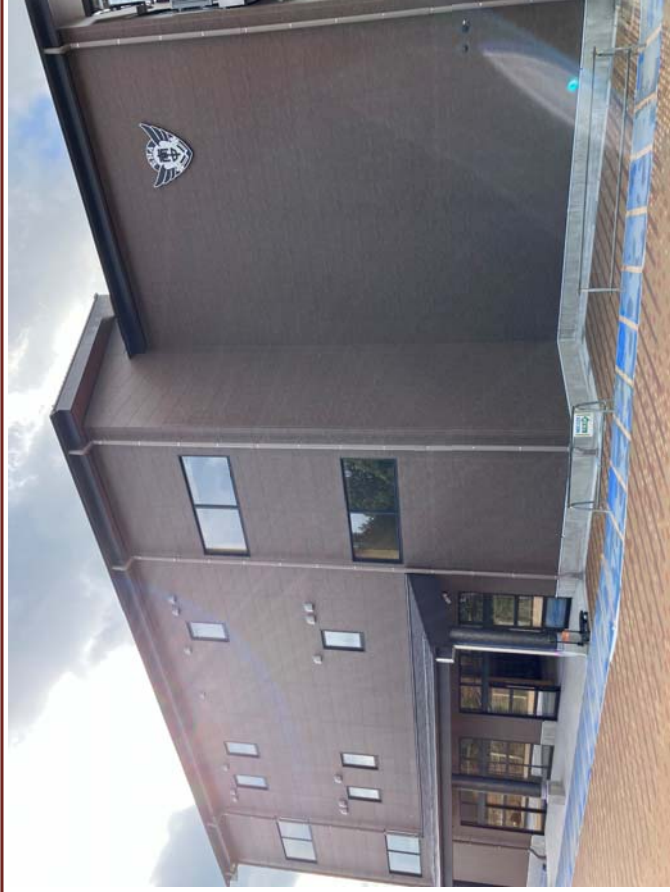
【これまでの経緯】

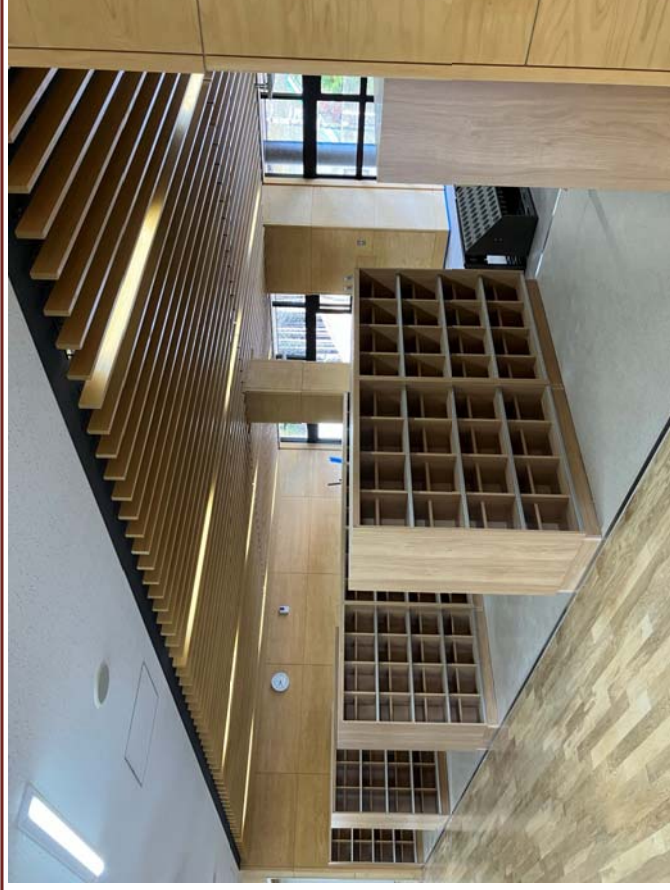
令和6年12月2日 工事本契約
 12月25日 起工式（安全祈願祭）
 令和7年1月6日 現場着手
 5月7日 既存校舎ステップ1完成（理科室2、印刷室等）
 5月19日 増築校舎建方開始
 5月28日 既存校舎ステップ2完成（音楽室、大会議室等）
 6月27日 校舎周回用スロープ完成
 8月19日 既存校舎ステップ3完成（職員室、保健室等）

【今後の予定】

令和7年12月12日 屋内運動場（建築）完成
 12月16日 増築校舎完成
 12月25日 既存校舎ステップ4完成（メディアスペース、図書室等）
 12月26日 既存校舎ステップ5工事開始







9



10

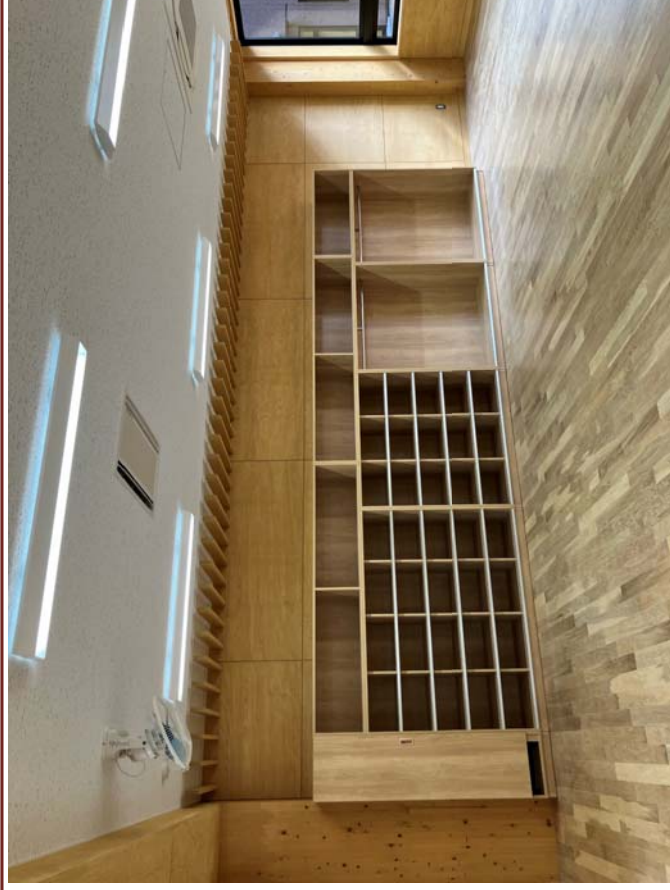


6

11



12



13



14

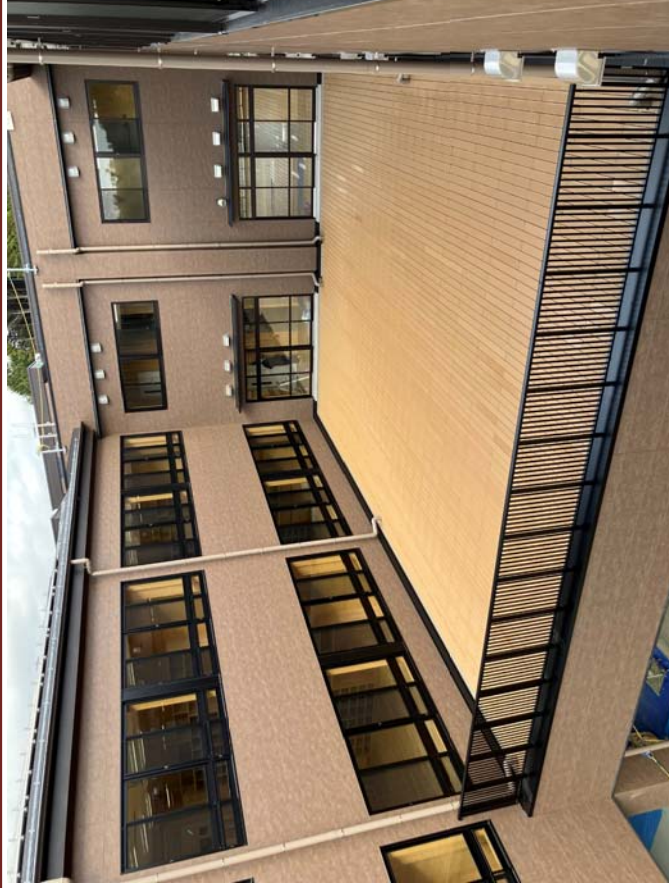


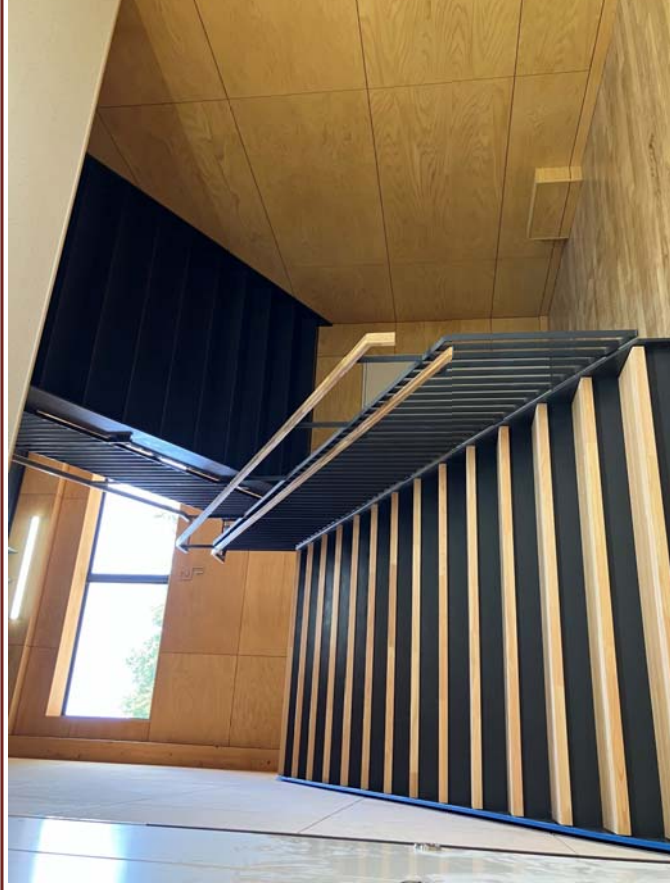
7

15



16





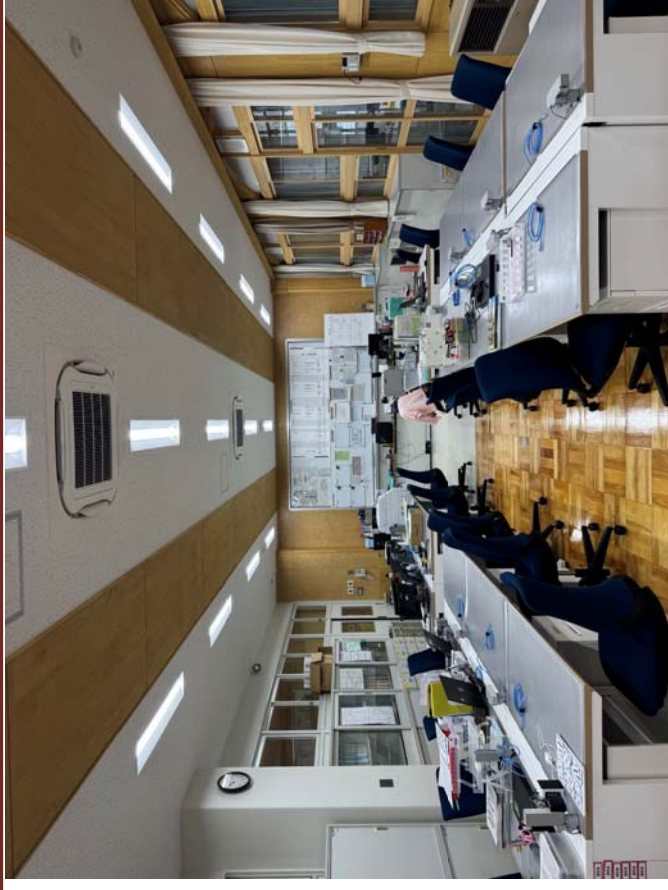
21



22

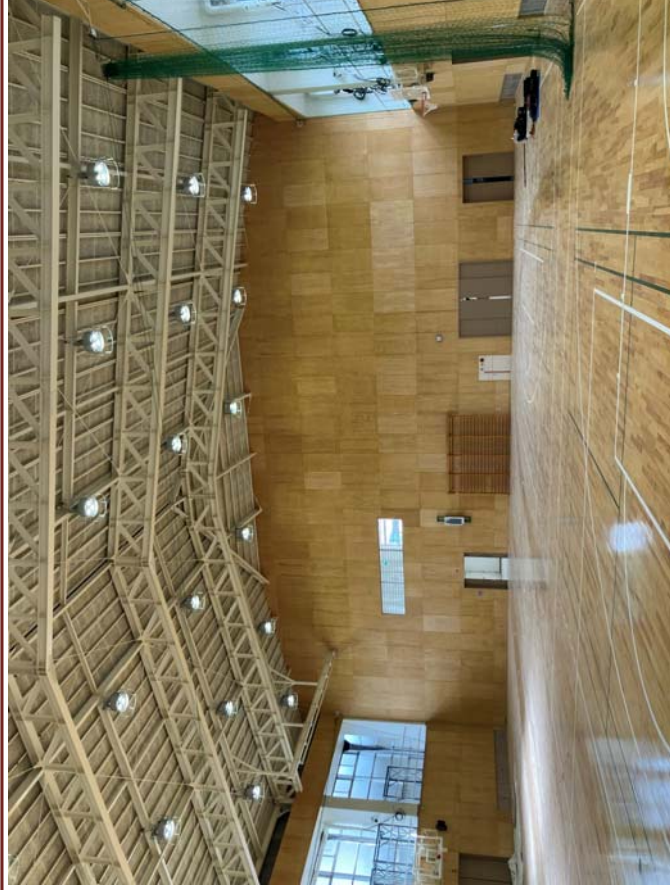


9

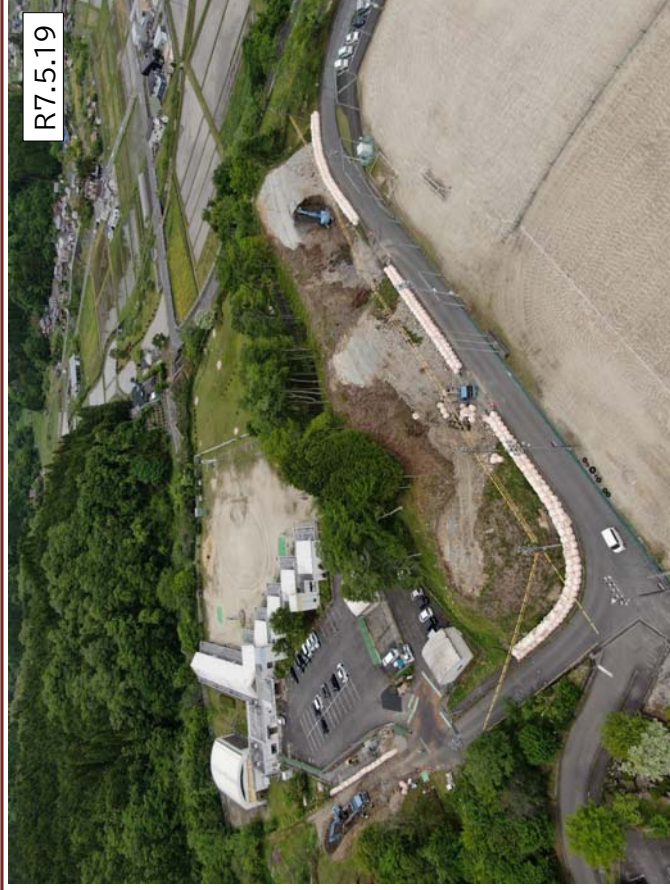


24





29



30



31



32

環境整備・PTA・コミスク部会の検討課題一覧

課題 番号	課題名	課題整理の状況		
		R5	R6	R7
9	校舎の増築、改修に関すること	・ 検討	・ 検討 ・ R6.7.18 総会	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 部会において増築校舎の配置計画を検討し、グラウンド東側に増築校舎棟を増築することとし、増築棟の1階はピロティ構造とした。 ・ 警報発令時の生徒引き渡しを円滑に行うため、校舎周回道路を新たに設置することを提案し、新たに、グラウンドにスロープを設置することとした。 ・ 環境部会で提案された設計アイデアが、実際の設計にどのように反映されたのかを確認した。 				
10	通学路の安全に関すること		・ 検討	・ R7.6.5 総会
<ul style="list-style-type: none"> ・ 統合中学校周辺道路の安全対策や円滑な通行について、事務局から提案した恵那南中学校の周辺市道改良計画を検討した。 ・ 承認した改良計画では、山岡こども園を囲むようにした2車線歩道付き周回道路を設置することとされた。 				
11	スクールバスの運行に関すること	・ 検討	・ 調査検討 ・ R7.2.17 総会	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門業者にスクールバスルート検討のためのたたき台を作成してもらい、それを基にバス停位置、バスルートを検討した。 ・ スクールバス運行方針を検討した。 ・ 地域ごとにバスルートの詳細を検討した。 ・ 乗車するバス停位置について保護者にアンケートを実施した。 ・ 決定したバス運行業者がバスルートを試走し、危険箇所等を洗い出し、バス停、バスルートの修正を行った上で、時刻表案を作成した。 ・ 修正したバス計画を基に、保護者に乗車バス停を通知し、相談期間を設けたうえで、令和8年度の乗車バス停位置を決定した。 				

12	看板、案内標識の整備に関する事		・ 検討	・ R7.6.5 総会
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の山岡中学校周辺にある中学校案内看板を改修することとした。 ・ 廃校となる 4 校の周辺に設置されている案内標識は、令和 8 年度当初に撤去することとした。 				
13	部活動に関する事	・ 検討	・ R6.5.20 総会	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 各学校の部活動の現状を確認し、南中学校での部活動のあり方を提案。 ・ 児童生徒を対象として部活動に関するアンケートの実施。 ・ 部活動のあり方についての恵那南中学校への提案を取りまとめた。 				
14	PTA の組織運営に関する事		・ 検討	・ 検討 ・ R7.9.29 総会
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動内容、組織、そもそものあり方について協議した上で、令和 8 年度に実際に恵那南中学校の PTA 活動に直接かわわる地域の保護者代表で検討してもらうこととした。 ・ 3 回にわたり開催した P T A 活動検討会議において、組織、活動内容、年会費等の案を作成し、部会で協議を行った。 ・ 検討会議で検討された原案を検討し、部会案として決定した。 				
15	学校運営協議会の組織運営に関する事		・ 検討	・ ・
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校運営協議会に直接関わる学校側でたたき台となる原案の検討を依頼することとした。 				